

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	9	竹 田 努	
<p>1. 新型コロナ禍における人口減少対策と財政対策について</p> <p>町長就任以来、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組み、6月定例会では、感染症対策に関する政策を打ち出したところです。</p> <p>この感染症対策においては、国や道にも無い独自の施策を地方創生臨時交付金を活用した中で、地域活性化や経済対策を展開してまいりました。</p> <p>一方で、交付金を活用しているとはいうものの、一般財源も予算ベースで5千万円強になっており、人口4,000人を切り、地方交付税に依存している我が町の将来に不安を感じております。</p> <p>町長においては、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、様々な課題に取り組まなければならないと思っておりますが、今後、どのような「まちづくり」に向かっていく考えなのか、以下の2点について町長に伺います。</p> <p>1. 人口減少対策に対する新たな施策について 2. 感染症対策後の財政収支計画について</p> <p>2. 災害（豪雨）対策について</p> <p>今後の災害対応については、新型コロナウイルス感染症対策と平行して取り組まなければならないため、避難所の開設を含め、非常に難しい対応が求められると考えます。</p> <p>近年、豪雨による河川の氾濫が全国で発生しており、今年の被害状況を見ても一級河川の氾濫が目立ち、甚大な被害をもたらしています。</p> <p>その際、避難所の開設やボランティアの活用を含め、新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限や3密を避けるための対応など、様々な対策が必要となってきます。</p> <p>異常気象による豪雨が北上傾向になりつつあり、北海道でも8月には、利尻、礼文、稚内地方においても豪雨が発生しており、災害の少ない町として自負している我が町も豪雨等に対する対策が必要だと感じていることから、災害対応策に関する町長の見解について伺います。</p> <p>1. 豪雨に対する防災計画について 2. 木古内川、佐女川の中州の雑木について 3. 過去の浸水個所の再点検について 4. 新型コロナウイルス感染症に対応した防災訓練について</p>			町 長